

## 教育リーグ規定（一部改訂）2021.10

### 1. 試合回数、試合時間、コールドゲーム等

- \* 試合回数は、7回戦とする。日没/降雨時の試合成立は5回終了時とし、試合が成立しない場合は、再試合とする。
- \* 試合時間を1時間30分過ぎたら、以降新しいイニングに入らない。以下、ケースでの対応とする。

時間制限の解釈について

- (1) 試合時間は、本部または当該担当審判員が管理し、試合開始時刻を両チームに通告する。
- (2) 試合時間に達した時は、審判員がそのことを両チームに通告する。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	2	0	3	1		6
B	0	0	0	0	2			2

- ・Aがリードの6回表に1時間30分が経過した場合  
⇒6回を7回と置き換えて、6回裏の攻撃まで行う。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
A	0	0	2	0	0	1		3
B	0	0	2	0	2			4

- ・Bがリードの6回裏のB攻撃中1時間30分が経過した場合  
⇒1時間30分を超えた時点で試合終了となる。審判員はその時の打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。
  - \* 全試合で点差によるコールドゲームを適用する。（4回10点差以上/5回以降7点差以上）
- ただし、試合時間の1時間30分まで試合を継続とする。
  - \* 規定時間/規定回数終了時に同点の場合は、特別延長戦を行わず引き分けとする。

### 2. 投球制限

投手の投球数は少年の場合1日あたり70球までとする。これを超える場合は投手を交代しなければならない。

（必携【競技に関する連盟特別規則八】・【東京都軟式野球連盟取り決め事項に準ずる】）

一度降板した投手は、再び投手となることはできない。

### 3. ベンチ、先攻/後攻

- \* 試合予定の連絡にて先のチーム（AvsBであれば、A）が一塁側とし、攻守は審判員立ち会いのもと主将のジャンケンで決める。

### 4. メンバー表、試合球

- \* メンバー表は本部にて用意した所定の用紙に作成し、試合開始前までに本部審判員に提出すること。
- \* 試合球は、教育リーグ会で用意する。

### 5. 審判員

- \* 担当審判は、審判服の着用とする。
- \* 担当審判員は、各チームから2名とし、担当審判員4名で運用とする。（球審、1塁審、3塁審、本部）
- \* 教育リーグのグラウンド準備は、第一試合の担当審判で行う。試合開始1時間前に集合とする。

なお、終了後の後片付けは、第二試合の担当審判にて行う。

- \* 第一試合のみの場合は、担当審判が準備・後片付けの両方を行う。
- \* 担当審判チームから試合結果(スコアボード)を当日中に野口まで送付すること。

### 6. その他

- \* 新型コロナ感染対策を行ってください。
- \* マナーアップにご協力ください。また、ゴミは責任をもって持ち帰ってください。
- \* 場外ファウル等の処理は、大人の方をお願いします。
- \* 球場への往復は、事故の無きよう、充分にご注意ください。
- \* グラウンド状態が悪く、整備に人数が必要な場合は、当該チームもグラウンド整備にご協力してください。